

誤飲したときの対処について

飲み込んだ物やその量などにより対応の仕方が違うので注意が必要です
 飲み込んだ物の種類にかかわらず、まず119番通報するか、かかりつけの医師または
 中毒110番へ問い合わせてください
 何を飲み込んだか判らない場合は、すぐ病院に行きましょう

飲み込んだもの	対応の目安
たばこ、吸殻が浸かっていた水やジュース	すぐ病院へ
ボタン電池	
除草剤、殺虫剤など	
防虫剤(ナフタリン、しょうのう)	
漂白剤、トイレ用洗剤など	
マニキュア、除光液	
石油製品(灯油、ガソリン、ベンジンなど)	
ガラス片、針、ヘアピンなど	
医薬品	
香水、芳香剤	早めに病院へ
石けん、シャンプーなど	様子を見る (症状が急変した場合は病院へ)
口紅	
鉛筆の芯、クレヨンなど	

すぐ病院へとなっていない場合でも症状が急変した場合はすぐに病院へ行きましょう
 病院に行くときは、飲み込んだものが入っていた容器や嘔吐物を持って行きましょう
 新しい救急蘇生法の指針では、中毒事故を引き起こす物質を飲み込んだ場合、水や牛乳を
 飲ませたり吐かせることはせずに、まず専門施設へ連絡し指示を仰ぐこととされています

化学物質、医薬品、動植物の毒などを誤飲した場合、(財)日本中毒情報センターの中毒110番に電話すれば相談できます

《(財)日本中毒情報センター 中毒110番》

(化学物質、医薬品、動植物の毒による急性中毒について実際に事故が起きている場合が対象です)

大阪 072 - 727 - 2499 (24時間365日無休)

つくば 029 - 852 - 9999 (朝9時～夜9時 365日無休)

《 たばこ専用電話 》

072 - 726 - 9922 (テープによる情報提供 24時間365日無休)